

令和4年度 第20回 三ヶ日東小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年4月27日（水）15時00分～16時30分
- 2 開催場所 三ヶ日東小学校 大会議室
- 3 出席委員 竹下 豊子、楠 道寛、大野 周一、黒柳 和良、若松 一也
清水 貴仁、金子 友子
- 4 欠席委員 石原 肇、金子 克博、大野 恵美子
- 5 オブザーバー 高野 一幸
- 6 学 校 山田 芳和（校長）、中村 圭介（教頭）、高嶋 博（教務主任）
鈴木 康二（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし

8 協議事項

■運営協議会長の選出、及び副会長の指名

■議長選出

■熟議

（1）学校経営方針について

（2）運営協議会の組織、主な取り組み等について

- ・子ども見守り隊ステッカーについて
- ・登下校用見守りジャケットについて
- ・コロナ禍における学習活動、予防対策等について
- ・夢育やらまいか事業に対する意見について

（3）その他

■その他

- 9 会議記録者 鈴木康二（CSディレクター）

10 会議記録

司会（竹下豊子）から、委員総数10人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

■運営協議会長の選出、及び副会長の指名

司会から、会長の選出について意見を求めたところ、黒柳和良委員から大野周一委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。その後、会長から、石原肇委員を副会長に指名する旨の報告があった。

■議長選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、多数の委員から黒柳和良委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

■熟議

(1) 学校経営方針について

《説明：山田校長》

別紙資料（2022輝きプラン他）に基づき学校経営方針について説明。

《発言内容》

- ◇昨年度に引き続き、教科担任制を行うとのことだが、文科省は高学年の教科担任制を推進しているなか、昨年度は全学年を対象としていた。当校のような規模の小さい学校で全学年を対象とするのは、教員の負担になっていないか心配である。今年度の体制はどうなっているか。（大野会長）
- ◇低学年は、昨年度に比べクラス担任が教える時間を増やした。（中村教頭）
- ◇低学年の子供たちは、クラス担任を頼りにしていると思うので、子供たちにとってクラス担任と接する機会が多くあるほうが、安心して伸び伸びと学校生活を送ることができると思う。（大野会長）
- ◇教科担任制のメリットとして、一人の生徒に対して多数の教員が関わっていくので、これまでだとクラス担任が一人で抱えていた問題等を多数の教員で情報共有することができ、生徒との関わり方や成長具合を見守っていくことができる。頂いたご意見を踏まえ、教員に無理のない範囲で教科担任制を行っていく。（山田校長）
- ◇昨年度から、成績通知表が2期制になっているが、子供へ渡す日や評価期間を保護者に周知しているのか。（大野会長）
- ◇昨年度、評価の仕方が変わったことを保護者に説明しているが、改めてしっかりと説明していく。（山田校長）

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 運営協議会の組織、主な取り組み等について

大野会長から、運営協議会の進め方、各取り組み・役割などについて説明があった。そのなかで、今年度は「年間計画に基づいた学校サポーター・学習支援の在り方と工夫と記録の整理」、「地域版人材バンクの設立」、「登下校指導用見守りジャケット等の作成」について重点的に取り組んでいきたい旨の説明があった。その後、以下の取り組みについて協議を行った。

・子ども見守り隊ステッカーについて

《説明：楠委員》

昨年度40枚作成、PTA役員、運営協議会委員、自治会役員、その他希望者へ配布し、車の左側に貼ってもらうよう依頼した。ステッカーを貼っている車をあちこちで見かけ、皆さんご協力していただけていることが確認できているので、今年度も引き続き行っていきたい。

特段の発言はなく、全員異議なくこれを承認した。

・登下校用見守りジャケットについて

《説明：大野会長》

本件については、昨年度、少し意見交換をしたが、今年度実施に向けて動いていく。昨年度、腕章やタスキでもいいのではないかと意見があったが、子供たちの安全を守るため、ジャケットに大きく「学校見まわり隊」等の文言を入れて車の運転手に強くアピールできるようにして、登下校時に各地域で交通安全指導（旗振り）をしてくださっている方々に購入して頂けたらと思うが、そういう訳にもいかないので、何か良い方法がないか検討していきたい。

《発言内容》

◇登校時は、各自治会・子供会の保護者が指導しているが、下校時は殆ど行っていない。普段、犬の散歩をしている方などに着用していただくのも一つの方法だと思う。（清水委員）

◇まずは、登下校時にどの箇所で、どの程度の方々が指導しているか、各自治会・子供会に確認して現状を把握していく。（大野会長）

◇交通安全担当の教員とも調整して進めていってもらいたい。（中村教頭）

協議の結果、引き続き検討していくことで全員異議なくこれを承認した。

・コロナ禍における学習活動、予防対策等について

《説明：田口養護教員》

コロナ感染対策として大切にしていきたいこととして、次の3つを心がけている。「コロナを正しく恐れる」、「誹謗中傷をやめ他者への思いやりを持つ」、「上からの押し付けではなく子供たちが主体的に行動する」。これらのことを徹底して継続していくことが、子供たちの学びを止めない大切なことだと考える。例として、昼休みの遊び方について、人数の制限をするか、遊ぶ時間を短くするか、接触の恐れがある特定の遊びを禁止するかなど、子供たち自身で他にも多くの意見を出し合って話し合った結果、「3密を避けマスクを鼻までしっかり付け、遊びが終わったら手洗いうがいをしっかりとすることを意識する」とこととした。そして、これら子供たちが自ら呼びかけようということになり、ポスターを作成したり、お昼に放送をするなどの活動を行っている。また、職員については、市教育委員会のマニュアルに基づき一日の行動フローを作成して、共通認識のもとに感染対策を行っている。

《発言内容》

◇コロナ感染対策としてトイレのスリッパをやめたことによって、子供たちは上靴で教室、体育館等を使用している状況にある。このことによって、逆に感染してしまう恐れはないか。O157等の細菌感染の心配もあるのではないか。（大野会長）

◇感染対策として、トイレにマットを設置している。マットはしっかり掃除・消毒を行っている。（田口養護教員）

◇感染対策をしっかりと行っていることが確認でき安心した。（大野会長）

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

・ 夢育やらまいか事業に対する意見について

《説明：中村教頭》

別紙（夢育やらまいか事業に対する意見書）に基づき説明。課題等を解決するために必要な施策等として、「地域の自然や歴史、伝統文化、産業等を調査したことを発表する場を設定」、「命の大切さを語る講座を開催」、「生け花に触れる機会を作る」ことを行っていく。

《発言内容》

◇命の大切に関する授業はどのような方が行うのか。（若松委員）

◇助産師の方に行っていただく。（中村教頭）

◇学校で畑はやっているのか。（若松委員）

◇畑はないが、学校近くでみかん栽培を行っている方に協力していただき、みかん作りを体験している。（中村教頭）

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) その他

○プールの土台設置・撤去について

本年度のプール土台設置と撤去について中村教頭から説明があった。

■ その他

○次回の運営委員会について

開催日時：令和4年6月2日（木）15時00分～

開催場所：大会議室

議長：石原副会長

司会：楠委員